

中野七夕 8月13日



お盆の恒例行事として、地域に伝えられてきた「中野七夕」に、子供たちの参加は欠かせません。それぞれが作った絵灯ろうを竿灯のように飾り、独特の太鼓を打ち鳴らして、中野地区を練り歩き、最後は三岳小学校のグラウンドでフィナーレとなります。



子供たちに伝える地域の文化

三岳地域は、小学校を地域文化の中心としてきたこともあり、現在でも子供たちに地域の伝統文化を継承する取り組みが続けられています。そして、子供たちからも地域の皆さんに、学校での活動が伝えられ、新しい時代の地域づくりが繋がっています。



農村の文化を子供たちに伝えるようと、十数年前から「雪中田植え」が続けられています。地域の高齢者センターまつりの中で行われるもので、田んぼに見立てた雪原に、しめ縄を張ってワラや豆カラの束を植え、米や豆などの豊作と家内安全を祈ります。



そばには、大きなまくらが作られ、水神様に田んぼの水に困らないように祈り、子供たちには甘酒などが振る舞われます。地域のお年寄りや子供たちの交流の場でもあり、祖父母から孫へと、先人の知恵や祈りが伝えられます。

雪中田植え

2月11日



三岳小学校創立130年を迎えた昨年、子供たちが練習を重ねて地域の方々に披露したのが「三岳ソーラン」です。閉校を迎える今年の学習発表会でもアンコールの音が掛かるなど好評で、子供たちの大きな自信になりました。